

大河内公民館通信

大河内公民館通信
第 60 号

平成 13 年(2001 年)7 月 12 日

TEL92-0175 FAX92-0176

<http://www.town.kumage.yamaguchi.jp/~okou/index.htm>
E-mail okou@town.kumage.yamaguchi.jp

6 月の大河内 ～行事盛りだくさん～

6 月 16 日 (土)

大河内父親学級

「大河内クリーン大作戦」

今年も大河内小学校まわりの草刈りをしました。
日差しの強い中、皆さん汗いっぱいになりながらがんばりました。

6 月 21 日 (木)

公民館講座 Vol. 3

「園芸教室～サルビア・アフリカシアとインパチェンス
の育て方～」

生涯学習のまちづくり大河内地区推進協議会と共催で、
園芸教室を開催しました。
協議会が行う「花いっぱい運動」を前に、今回配布する花
の育て方について学びました。

6 月 8 日 (金)

公民館講座 Vol. 2

「大河内ナイトウォーク～ホテルの夕べ」

大河内母親クラブと共催で、今年も開催しました。
約 30 名の方々が参加され、「ホテルいっばいの乱舞を楽
しました。

6 月 17 日 (日)

大河内家庭教育学級

「小学生の心の発達と保護者の役割」

大河内小学校、PTA、公民館との共催で、大河内小学
校体育館にて講演会が開催されました。

講師は、臨床心理士の高田晃先生。

6 月 26 日 (火)

大河内花いっぱい運動～第 5 弾～

生涯学習のまちづくり大河内地区推進協議会の主催で
「大河内花いっぱい運動」が開催されました。

約 70 名の方々が参加がありました。
どんな風に育てられるのか、秋頃の審査が楽しみです。

第 18 回ふれあい夏祭り

♪ カラオケ大会出場者大募集 ♪

～子どもから大人まで誰でも参加できます～

第 18 回大河内ふれあい夏祭りが、8 月 11
日 (土) に大河内小学校グラウンドで開催されます。
そこで、今年も「大カラオケ大会」を行います。

右⇒の申込書にご記入の上、大河内公民館まで
ご提出ください。

提出先：大河内公民館

締切日：7 月 23 日 (月)

※曲 (テープなど) は、当日、各自でご持参ください。

(きりととり)

カラオケ大会参加申込書

曲名

氏名

住所

電話番号



大河内地区

青少年健全育成協議会

【広報部】 NO 17



「こどもが危ない」

最近 幼児虐待による殺傷や、刃物を使った通り魔的殺人などの、凶悪犯罪が連続して発生し、世間を騒がせている。

大阪教育大教育学部付属、池田小学校で起きた幼い尊い命が、一瞬にして奪われた悲しい事件だった。これまでの安全神話が、学校の教室で崩れ去った。

我が子が通う学校はどうだろうか、父兄の間から「安心して通える学校にして欲しい」と強くもとめられている。いま全国的に安全対策が見直されている。一部では、校門の閉鎖・校内巡視の強化・警備員の配置などが実施されている。これから子どもたちを、どう守っていけばいいのか、親・教師・地域は鋭く問いかけられている。

また一方では、子を持つ親たちは、このような被害を防ぐには、子どもにどう言って教えれば良いのだろうか、複雑な思いを隠せない。

不審な人がいたらくれぐれも、注意して逃げよ。

知らない人の話しにのらず、何かあったら大きな声で、助けを呼ぶのよ。と言うのが精一杯。

子どもには知らない人には、近づかないように言うしかない。

人や社会を疑ってかかれと、不安をおおるような事は教えたくない。でもいつ自分たちも、巻き込まれるか分からない。

光警察署からお知らせ

現在警察では、こどもや女性等の社会的弱者を守る、活動を地域安全対策の中でも、最重点施策に位置付けて取り組んでいます。

最近全国的には、レッサーパンダ男による女子大生殺傷事件や、先日の大阪府下においては、包丁による多数の児童を殺傷する、極めて残忍で悲惨な事件が発生しております。

管内においても、こどもや女性に対する声かけ事件が発生し、或いは変質者が出没するなど、憂慮すべき状況にあります。この種の事件の再発を防止するため、当面下記の事についてご配慮を、いただく様お願い申し上げます。

記

1. こどもや女性の周辺に気配りをいただき、不審者（車）の発見等安全確保についてご配慮ください。
2. こどもや女性が危険を感じたり、不安に思って助けを求めてきた場合は、まず落ち着かせて110番通報するか、または、光警察署へ速報する様に指導ください。
3. 不審者（車）を発見された場合は、110番通報してください。
4. 寄せられた不審情報は、速やかに光警察署にご連絡ください。
5. こどもや女性を犯罪被害者から守るためには、地域が一体となった活動が必要です。

以上。

地域の目で子どもを守る
安全対策については、学校と地域の協力をなしに子どもたちの、命を守ることはできない。
地域の人の協力を得てみんなで、支えている学校という認識が広がれば、外部からの侵入なども少なくなるのではないかと。例として、登下校時にボランティアに見廻りに来て貰うなど、保護者や地域の手を借りる意味は大きいと話されました。

私たち地域住民として子ども達を守るために、学校や幼稚園の関係者と連携を取りながら、理解と協力は欠かせないものです。